

## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO ・ <u>地域連携DMO</u> ・ 地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人麒麟のまち観光局	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 鳥取県 鳥取市・岩美町・智頭町・若桜町・八頭町 兵庫県 新温泉町・香美町	
所在地	鳥取県鳥取市扇町3 東栄ビル3F	
設立時期	平成30年1月15日	
職員数	5人	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 理事長 宮崎 正彦 (出身組織名) 株式会社鳥取銀行	(株)鳥取銀行代表取締役頭取を経て、現代表取締役会長。一般社団法人中国経済連合会副会長、鳥取県経営者協会会長などを務める。 金融の幅広いネットワークを活用した民間視点での観光地経営を行う人材として理事長に就任。
各部門(地域マネジメント)の責任者(専門人材)	(氏名) 事務局長 石塚 康裕【専従】 (出身組織名) 鳥取・因幡観光ネットワーク協議会	鳥取・因幡観光ネットワーク協議会事務局長。 平成26年度に広域周遊定期観光バス企画を造成。 地域の観光事業者、自治体、観光協会、交通事業者、宿泊事業者のみならず住民や農林水産業者、教育機関などを巻き込んだ商品造成やプロデュースに携わっている。 総合旅行業務取扱管理者。
各部門(各種データの分析・収集、旅行商品の造成)の責任者(専門人材)	(氏名) 事務局次長 須田 耕平【専従】 (出身組織名) 株式会社鳥取銀行	(株)鳥取銀行地方創生担当部署より出向。 県内外の事業者・行政団体と連携しマーケティングを活用した観光商品の造成、ジビエ利活用に向けたビジネスモデルの構築支援を経験。 DMOと地域事業者との連携による観光ビジネスの創出・支援を担当。
各部門(各種データの分析)の責任者(専門人材)	(氏名) マーケティング・アナリスト 高橋 良平 (出身組織名) 倉敷芸術科学大学	(株)ブレインパッド創設メンバー。元(株)鳥取銀行システム・マーケティング担当。倉敷芸術科学大学教員として地域政策(地方経済)サービス・マーケティングを研究。 DMOのマーケティングを担当。非常勤(週1日程度勤務)。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	1市6町(商品造成・各種調査・社会資本整備・地域公共交通) ・鳥取市観光戦略課 ・岩美町商工観光課 ・智頭町企画課 ・若桜町産業観光課 ・八頭町産業観光課 ・新温泉町商工観光課 ・香美町観光商工課 県(DMO連携) ・鳥取県元気づくり総本部東部振興監東部振興課 ・兵庫県但馬県民局地域政策室地域づくり課	

(別添) 様式 1

<p>連携する事業者名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取商工会議所 (飲食・特産品開発・イメージ戦略)</li> <li>・ 鳥取市東商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 鳥取市西商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 鳥取市南商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 岩美町商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 智頭町商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 若桜町商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 八頭町商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 鳥取市観光コンベンション協会 (着地型商品造成販売・案内・イベント)</li> <li>・ 岩美町観光協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 智頭町観光協会 (着地型商品造成販売・案内・イベント)</li> <li>・ 若桜町観光協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 八頭町観光協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 新温泉町観光振興協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 香美町香住観光協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 香美町村岡観光協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 香美町小代観光協会 (着地型商品造成・案内・イベント)</li> <li>・ 新温泉町商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ 香美町商工会 (飲食・特産品開発・イベント)</li> <li>・ (株)鳥取銀行 (ビジネス創出・コンサルタント)</li> <li>・ (株)但馬銀行 (ビジネス創出・コンサルタント)</li> <li>・ 若桜鉄道 (交通アクセス・商品造成)</li> <li>・ 鳥取市温泉旅館組合 (宿泊)</li> <li>・ NP0 法人岩美あくていぶカンパニー (体験商品造成)</li> <li>・ (株)農協観光 (商品造成・販売)</li> </ul> <p>そのほか、金融・交通・宿泊・飲食・体験・JAグループなどが参画。 また、エリア内の企業等が「DMOサポーター」として連携。(290社)</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件) ①、②、④</p> <p>(概要)</p> <p>①行政、観光協会、商工会議所、商工会、金融、交通、宿泊、体験などの代表者で理事会を構成。</p> <p>②「インバウンド部会」「交通部会」「食部会」「情報発信部会」の4つの部会を設置し、官民一体で展開。</p> <p>④行政のトップ(首長)を一般社団法人麒麟のまち観光局顧問として委嘱。定期的開催されるトップ会議「麒麟のまち創生戦略会議」でDMOの取り組みや戦略の共有を図る。また、行政の予算措置の協議を実施。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域エリアの一元的な情報発信 (WEB、パンフ、メディア等)</li> <li>・ 二次交通対策 (定期観光バス企画)</li> <li>・ 隣接DMOとの連携</li> <li>・ 各種広域連携旅行商品の造成</li> <li>・ 第2種旅行業登録申請中</li> </ul> <p>(定量的な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HP アクセス数 約 200 万アクセス/年、ユニークユーザー100 万 ※うち新規ユニークユーザー27 万</li> <li>・ 定期観光バスルート 4 コース造成</li> <li>・ 広域連携旅行商品の造成 20 商品/年</li> </ul>

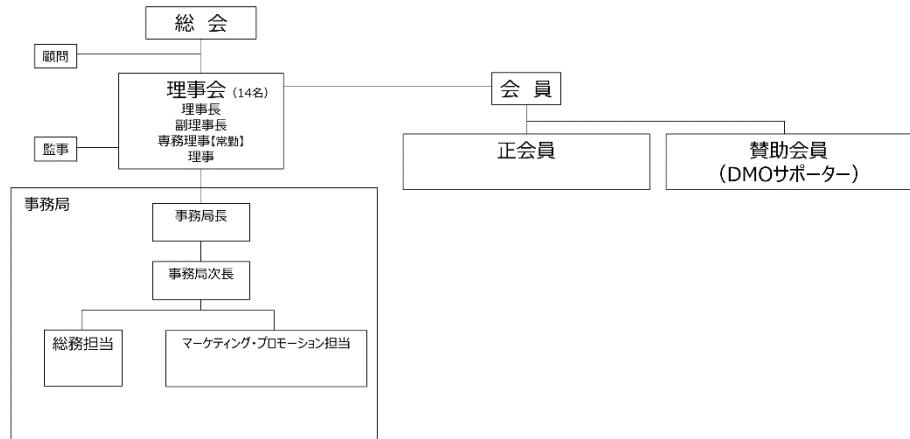
(別添) 様式 1

実施体制

(実施体制の概要)  
公益事業と収益事業を実施する一般社団法人。  
行政、観光協会、商工会議所、商工会、金融、交通、宿泊、体験などの代表者で理事会を構成。監事には金融と行政が就任。定期的に理事会を開催。  
行政のトップ(首長)を一般社団法人麒麟のまち観光局顧問として委嘱。  
エリア内の企業等が賛助会員「DMOサポーター」として連携。(300社)  
DMOサポーターは戦略の共有のほか、「私たちかは麒麟のまち観光局を応援します」「私たちは麒麟のまち観光局の一員です」といった地域の一体感を醸成する活動を実施する。

(実施体制図)

一般社団法人麒麟のまち観光局 組織図

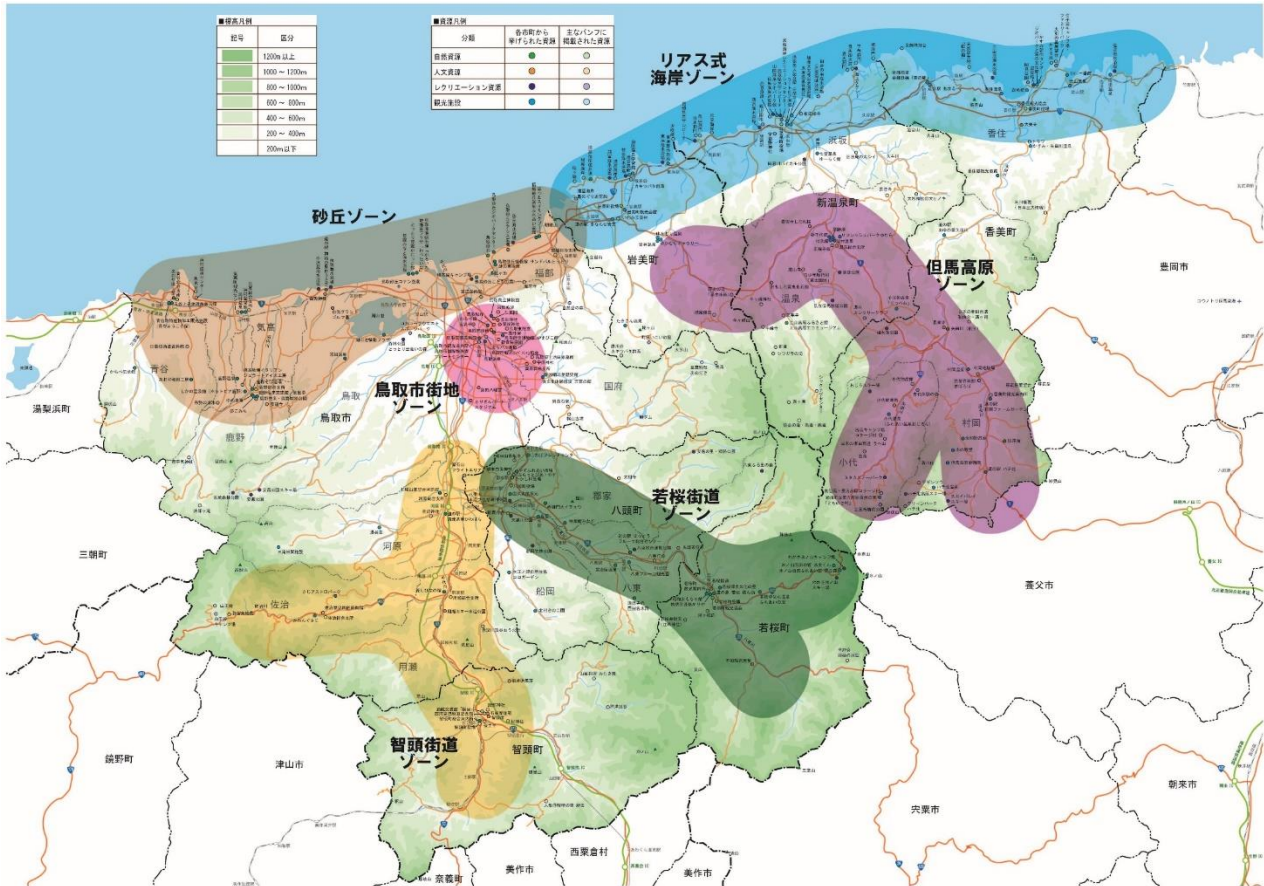


## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

### 【区域の範囲】

〈鳥取県〉鳥取市・岩美町・智頭町・若桜町・八頭町

〈兵庫県〉新温泉町・香美町



### 【区域設定の考え方】

現在、道路網の整備が進んでおり、商圈・生活圏が一体であり、あわせて伝統文化「麒麟獅子」の歴史的つながりがある兵庫県北西部2町を加えた1市6町を新たな観光圏として設定することが適当であるとの判断に至った。

### 【観光客の実態等】

平成27年の圏域全体の観光客数は約6,300千人で、平成20年度の鳥取自動車道開通に伴う関西圏・山陽圏からのアクセス向上により、バス利用者、自家用車利用者とも増加していたが、近年団体バスが減少傾向にある。

### 【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

鳥取砂丘、いなば温泉郷の5温泉地、山陰海岸ジオパークエリア、海水浴場、キャンプ場、棚田、宿場町や城下町のまちなみ、城跡、神話伝承の地、スキー・登山・マリンスポーツの拠点、海産物やジビエ、農産物など、圏域特有の自然環境や伝統文化、特産品を活かした多くの観光資源を保有している。

### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

圏域内の宿泊施設数は約110、収容人数は約6,800人で、主に鳥取市中心部、温泉郷周辺、スキー場周辺、海水浴場周辺に集中している。

## (別添) 様式 1

### ※参考

鳥取市	75 施設	約 5,000 人
岩美町	28 施設	約 1,150 人
八頭町	8 施設	約 185 人
若桜町	5 施設	約 440 人
智頭町	2 施設	約 25 人 (その他、民泊が 40 軒で 60 人)
計	約 110 施設	約 6,800 人

### 【利便性：区域までの交通、域内交通】

航空便	鳥取空港から羽田空港へ定期便が 1 日 5 往復
鉄道	京阪神方面に特急列車が 1 日 8 往復 山陽方面に特急列車が 1 日 6 往復 米子・松江方面に特急列車が 1 日 7 往復
車	鳥取自動車道が中国自動車道に連結 山陰自動車道・鳥取豊岡宮津自動車道が整備中
高速バス	東京行き高速バスが 1 日 2 往復 神戸大阪行き高速バスが 1 日 21 往復 京都行き高速バスが 1 日 4 往復 広島行き高速バスが 1 日 2 往復 福岡行き高速バスが 1 日 1 往復

### 【外国人観光客への対応】

鳥取市が JR 鳥取駅構内に「鳥取市国際観光客サポートセンター」を設置、英語・中国語・韓国語での案内業務を実施している。

外国人観光客向けの二次交通対策として、鳥取ハイヤー協同組合が周遊タクシーを運行している。

また、大阪（なんば）～鳥取間の訪日外国人向けバスの運行も実施している。

海外へのプロモーション活動は、台湾・香港などを中心に外国語での情報発信と海外旅行社への営業を実施している。

また、ANA 総合研究所と連携したインバウンド向けメニュー開発やツアーを実施している。

## 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
訪日外国人宿泊者数	重点ターゲットである訪日外国人の宿泊者数を追跡調査することにより、継続的な戦略に生かすため。	宿泊施設の協力
訪日外国人施設入館者数	重点ターゲットである訪日外国人の観光施設入館者数を追跡調査することにより、戦略に生かすため。	観光施設の協力
鳥取駅案内所訪日外国人利用者数	重点ターゲットである訪日外国人の案内所利用者数を追跡調査することにより、戦略に生かすため。	案内所の協力 アンケート調査
オフィシャルサイト訪問者数	追跡調査することにより、戦略に生かすため。	当法人アクセス解析

## 4. 戦略

### (1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> 圏域の歴史や文化に根差した観光資源が豊富、山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワークへの加盟、鳥取砂丘の知名度、空港・港湾・高速道路などの結節による恵まれたアクセス環境	<b>弱み (Weaknesses)</b> エリア認知度の低さ、観光地間を接続する二次交通の不足、大規模な団体客を受け入れできる宿泊施設が少ない
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> 自動車道の整備によるアクセス向上、世界ジオパークネットワークのユネスコ正式事業化による知名度の向上、県内に国際定期便を保有することによる外国人観光客の増加	<b>脅威 (Threat)</b> 少子高齢化に伴う国内旅行市場の縮小、団体バスの減少

### (2) ターゲット※平成 28 年度中に策定する広域観光グランドデザインの中で確定

○第 1 ターゲット層 若年層
○選定の理由 情報リテラシーが高く、将来性が期待されるため。
○取組方針 ・児童・生徒、学生世代、子育て世代を中心に誘客展開 ・情報の発信・収集の両面で有効性が高く、プロモーションなどでも選択と集中による展開がしやすい モバイル・WEBの最大限活用 ・砂丘、海、山、溪流など豊かな自然を活用した体験レジャー・スポーツアクティビティの展開 ・圏域が誇る食材の活用による食事メニューの開発 ・VR・ARなどを使ったゲーム感覚の体験プログラムの観光活用の研究推進
○第 2 ターゲット層 訪日外国人
○選定の理由 インバウンド需要を新たな市場として捉え、地域連携による誘客を強化するため。
○取組方針 ・東アジア諸国を中心に誘客展開 ・広域観光周遊ルート「美の伝説（関西広域連合）」「緑の道（山陰インバウンド機構）」の 2 ルート双方の対象地域である優位性を最大限に活用 ・関西から当圏域への訪日外国人旅行者の誘客強化 ・多言語翻訳システムの実現化に向けた研究推進 ・田舎文化を体験する多様なプログラムの整備 ・帰国の際に持ち帰ることができる土産品の開発

### (3) コンセプト

①コンセプト	『麒麟のまち観光圏』
②コンセプトの考え方	鳥取因幡（鳥取県東部）・北但西部（兵庫県北西部）地域の今後の観光振興に向け、多様な事業主体・関係者等相互の連携、事業の円滑な推進を図り、夢のあるビジョンを描き、「広域エリアだからこそできること、やりたいこと、やれること」に取り組み、それぞれの市町の活動との有機的な連動・連携及び住民参加による地域全体の活性化を目指す。 ◆生活圏・商圈・文化圏、新たな観光圏の連携が実現（地域の目指す姿） ◆訪れた人々が「美しさ・温かさ・うまさ」に感動する地域（観光客の皆さんに期待する姿） ◆住民が主体となり様々な交流を通じて創り上げる笑顔あふれる地域（地域住民の目指す姿）

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMOが中心となり、行政や観光協会、経済団体が個別に取り組んできた観光事業や施策のベクトルを同一方向に向けるため、定期的に戦略・方向性を協議する場を設ける。 また、宿泊業者、飲食業者、交通事業者、地域まちづくり団体など多様な関係者が参画するための部会を設け、DMOが中心となって戦略の共有、イメージの一元化を図るための話し合いの場を定期的に開催する。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	鳥取市・鳥取市商工会議所・鳥取市観光コンベンション協会が実施する「鳥取市観光大学」により、観光マイスター認定制度を実施しており、観光事業従事者を中心に392人が認定されている。 鳥取市において、地元食材を使用した料理が食べられる「地産地消の店」の認定を行っており、85店舗が登録されている。
一元的な情報発信・プロモーション	DMOがランドオペレータ機能を持ち、ワンストップ化を図る。特に広域DMOとの連携や近隣DMOとの情報共有・連携・協力を図る。 また、エリアイメージ定着のための共通ロゴや共通コピーを創造し、DMOにかかわる団体・事業者が広報する際に掲載するなど、定着とエリアの一体感を醸成していく。

**6. KPI (実績・目標)****(1) 必須KPI**

	単位	H27年 (度)	H28年 (度)	H29年 (度)	H30年 (度)	H31年 (度)	H32年 (度)
●旅行消費額	円	29,027	28,532	28,414	(30,000)	(31,500)	(33,000)
●延べ宿泊者数	人	255,157	409,390	383,587	(265,800)	(271,000)	(284,700)
●来訪者満足度	%	69.3	78.4	61.5	(70.0)	(75.0)	(75.0)
●リピーター率	%	75.0	75.0	77.0	(75.0)	(80.0)	(80.0)

**※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方****【検討の経緯】**

自治体・旅行者・DMO・金融機関などで構成する会議にて数値目標を設定。2020年をピークとして右肩上がり。その間に「地域が稼ぐ仕組み」を構築し、2021年以降、選ばれる観光地になるために検討している。

**【設定にあたっての考え方】****●旅行消費額**

消費額増加のためのターゲットと合わせて、地域の「原価計算」の仕組みづくりをDMOとして実施中。脱ボランティア精神のためのビジネスモデル構築・研修を地域の中へ入り込んでDMOとして実施する。

**●延べ宿泊者数**

宿泊施設ヒアリングによる傾向でも、稼働率は好調。今後、KPIの上方修正も検討している。民泊・ゲストハウスなどのデータを収集する仕組みづくりをDMOで検討しており、継続した精度の高いデータ収集を図っていく。

**●来訪者満足度**

個別のツアーや施設、イベント等のデータは多く存在するが、調査内容が統一されていないため、精度の高い継続したデータ収集の仕組みをDMOで検討中。

**●リピーター率**

生涯リピーター率を捉える仕組みを検討中。

**(2) その他の目標**

	単位	H27年 (度)	H28年 (度)	H29年 (度)	H30年 (度)	H31年 (度)	H32年 (度)
●訪日外国人宿泊者数	人	12,917	17,453	24,259	(21,000)	(24,000)	(30,500)
●訪日外国人入館者数	人	13,384	17,802	21,457	(21,500)	(24,500)	(31,000)
●鳥取駅観光案内所訪日外国人利用者数	人	7,087	9,846	10,332	(12,000)	(13,500)	(17,000)
●オフィシャルサイト訪問者数	人	194,212	276,901	251,674	(350,000)	(400,000)	(500,000)



(別添) 様式 1

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**

経常的にデータ収集を行うことができる仕組みを、マーケティング専門人材（専従と非常勤）を中心に検討している。観光協会、観光施設、宿泊施設、自治体などの協力を得ながら、より精度の高い調査を実施していく。

**【設定にあたっての考え方】**

●訪日外国人宿泊者数

訪日外国人宿泊者数は増加の一途をたどっているが、キャパシティの問題もある。宿泊施設の国内旅行者減少とのバランスを注視している。今後の民泊・農泊の展開によっては少量であるがキャパアップも図ることができる。

●訪日外国人入館者数

対象施設が限られているが、こちらも訪日外国人入館者数は増加の一途。バスによる国内団体旅行客の減少を埋めるためには相当の努力が必要。関係機関とDMOとで戦略共有を図っている。

●鳥取駅観光案内所訪日外国人利用者数

エリアのハブである鳥取駅構内観光案内所の訪日外国人利用者も増加の一途。近隣の国際観光客サポートセンターとの連携を強化している。周辺町村の案内機能が課題である。

●オフィシャルサイト訪問者数

GoogleAnalytics分析。PV数ではなく新規ユニークユーザー数の推移を追っている。もちろんリピーター訪問数も把握している。PV数は200万程度であるが、こちらは傾向を見守る程度。H31年度にオフィシャルサイトをリニューアル予定。多言語対応はリニューアル時を予定。毎月定期解析を専門家と連携して実施。

**7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し**

(1) 収入

年度	総収入（円）	内訳（円）
26年度	16,339,024	(内訳の区分) 【市町村からの補助金】16,200,000 【繰越金他】199,024
27年度	18,612,000	(内訳の区分) 【市町村からの補助金】3,850,000 【構成団体負担金】14,600,000 【繰越金】162,000
28年度	20,601,928	(内訳の区分) 【市町村からの補助金】4,000,000 【構成団体負担金】16,530,873 【繰越金他】71,055
29年度	27,281,000	(内訳の区分) 【市町村からの補助金】4,000,000 【構成団体負担金】22,993,000 【繰越金】288,000
30年度	68,598,000	(内訳の区分) 【会費収入・補助金・負担金・寄付金・事業収入】
31年度	61,294,000	(内訳の区分) 【会費収入・補助金・負担金・寄付金・事業収入】

(別添) 様式 1

## (2) 支出

年度	総支出 (円)	内訳 (円)
26 年度	16,236,229	(内訳の区分) 【固定費 (人件費・事務費)】 6,729,588 【事業費】 9,506,641
27 年度	18,612,000	(内訳の区分) 【固定費 (人件費・事務費)】 7,632,000 【事業費】 10,980,000
28 年度	20,313,927	(内訳の区分) 【固定費 (人件費・事務費)】 5,840,028 【事業費】 14,473,899
29 年度	27,281,000	(内訳の区分) 【固定費 (人件費・事務費)】 9,835,000 【事業費】 17,446,000
30 年度	69,968,000	(内訳の区分) 【固定費・公益事業・収益事業】
31 年度	60,025,000	(内訳の区分) 【固定費・公益事業・収益事業】

## (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

DMO構成団体(行政を含む)からの負担金、会費、観光事業者からの広告・協賛収入、WEBでの商品販売手数料収入、旅行業、商品企画料、観光コンサルタント業務など。  
行政からの運営費支援は3年ごとに見直す。  
一般社団法人として基金を設け、運営資金に充てる。(民間・行政からの拠出)

## 8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

鳥取市、岩美町、智頭町、若桜町及び八頭町の1市4町は、一般社団法人麒麟のまち観光局を当該市町における地域連携DMOとして認めます。

鳥取県は、一般社団法人麒麟のまち観光局を鳥取県東部地区における地域連携DMOとして、協同して観光行政に取り組みます。

兵庫県は、一般社団法人麒麟のまち観光局を当該県における地域連携DMOとして認めます。

## 9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	石塚 康裕
担当部署名(役職)	一般社団法人麒麟のまち観光局 事務局長
所在地	鳥取県鳥取市末広温泉町 160
電話番号(直通)	0857-50-1785
FAX 番号	0857-50-1786
E-mail	ishizuka@tottori-inaba.jp

## 10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	鳥取市
担当者氏名	中川 直人
担当部署名 (役職)	経済観光部観光戦略課 課長補佐
所在地	鳥取県鳥取市尚徳町 116
電話番号 (直通)	0857-20-3227
FAX 番号	0857-20-3046
E-mail	kankou@city.tottori.lg.jp

都道府県・市町村名	岩美町
担当者氏名	松野 洋平
担当部署名 (役職)	商工観光課 主事
所在地	鳥取県岩美郡岩美町浦富 675-1
電話番号 (直通)	0857-73-1416
FAX 番号	0857-73-1590
E-mail	kankou@iwami.gr.jp

都道府県・市町村名	智頭町
担当者氏名	國岡 まゆみ
担当部署名 (役職)	企画課 課長補佐
所在地	鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2072-1
電話番号 (直通)	0858-75-4112
FAX 番号	0858-75-1193
E-mail	kikaku@town.chizu.tottori.jp

都道府県・市町村名	若桜町
担当者氏名	宮本 健也
担当部署名 (役職)	にぎわい創出課 主事
所在地	鳥取県八頭郡若桜町大字若桜 801-5
電話番号 (直通)	0858-82-2238
FAX 番号	0858-82-0134
E-mail	sangyou@town.wakasa.tottori.jp

都道府県・市町村名	八頭町
担当者氏名	谷口 雅美智
担当部署名 (役職)	産業観光課 課長
所在地	鳥取県八頭郡八頭町郡家 493
電話番号 (直通)	0858-76-0208
FAX 番号	0858-76-0217
E-mail	sangyou-kankou@town.yazu.tottori.jp

都道府県・市町村名	新温泉町
担当者氏名	岩垣 廣一
担当部署名 (役職)	商工観光課 課長
所在地	兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673-1
電話番号 (直通)	0796-82-5625
FAX 番号	0796-82-3054
E-mail	syokokanko@town.shinonsen.lg.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	香美町
担当者氏名	田淵 衛
担当部署名(役職)	観光商工課 課長
所在地	兵庫県美方郡香美町香住区香住 870-1
電話番号(直通)	0796-36-3355
FAX 番号	0796-36-3809
E-mail	Kankoushoukou-1gwan@town.mikata-kami.lg.jp

都道府県・市町村名	鳥取県
担当者氏名	岩成 哲彦
担当部署名(役職)	元気づくり総本部東部振興監東部振興課 課長補佐
所在地	鳥取県鳥取市東町 1 丁目 220
電話番号(直通)	0857-26-7968
FAX 番号	0857-26-7127
E-mail	toubu-shinkou@pref.tottori.jp

都道府県・市町村名	兵庫県
担当者氏名	齋藤 直紀
担当部署名(役職)	但馬県民局地域政策室地域づくり課 班長
所在地	兵庫県豊岡市幸町 7-11
電話番号(直通)	0796-23-1001
FAX 番号	0796-23-1476
E-mail	naoki_saitou@pref.hyogo.lg.jp

法人名：一般社団法人麒麟のまち観光局 『麒麟のまち観光圏』  
登録区分名：地域連携DMO

【区域】  
鳥取県鳥取市、岩美町、智頭町、若桜町、八頭町、兵庫県新温泉町、香美町

【設立時期】  
平成30年1月15日

【代表者】  
理事長 宮崎 正彦

【マーケティング責任者】  
須田 耕平

【職員数】  
5名

【連携する主な事業者】  
鳥取市観光コンベンション協会、岩美町観光協会、智頭町観光協会、若桜町観光協会、  
八頭町観光協会、新温泉町観光振興協議会、香美町香住観光協会、香美町村岡観光協会、  
香美町小代観光協会、鳥取商工会議所、鳥取市東商工会、鳥取市西商工会、鳥取市南商工会、  
岩美町商工会、智頭町商工会、若桜町商工会、八頭町商工会、新温泉町商工会、香美町商工会、  
㈱鳥取銀行、㈱但馬銀行、㈱若桜鉄道、鳥取市温泉旅館組合、NPO法人岩美あくていぶカンパニー、  
㈱農協観光 ほか

表：KPI（目標） ※うち（ ）内は訪日外国人

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
旅行消費額 (円)	29,027	28,532	28,414	30,000	31,500	33,000
延べ宿泊者数 (人)	255,157 (12,917)	409,390 (17,453)	383,587 (24,259)	265,800 (21,000)	271,000 (24,000)	284,700 (30,500)
来訪者満足度 (%)	69.3	78.4	61.5	70.0	75.0	75.0
リピーター率 (%)	75.0	75.0	77.0	75.0	80.0	80.0

